

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2025No.389】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：セルゲイ・プロコフィエフ

曲名：ヴァイオリン協奏曲第1番二長調 op. 19

演奏：ジャニーヌ・ヤンセン(ヴァイオリン)/サイモン・ラトル指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56327>

2025年10月19日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ベルリンフィル 2025/26 年シーズンのアーティスト・イン・レジデンスを務めるヴァイオリニストのジャニーヌ・ヤンセン。その演奏は、音色の美しさと深い感情表現で高い評価を得ています。今回の公演では、サー・サイモン・ラトル指揮のもと、彼女がプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番を演奏します。気まぐれでモダンな要素と、抒情的な繊細さとが魅力的に融合した作品です。また、アダムズの《ハルモニーレーレ》では、ミニマル音楽が印象主義的な色彩をまとうて展開されます。さらに、グレインジャーの《リンカンシャーの花束》では、イングランドの田園風景が民謡の旋律をつうじて生き生きと描かれます。

以上の他に下記が演奏されました。

パーシー・グレインジャー 《リンカンシャーの花束》

J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ1番アダージョ

ジョン・アダムズ 《ハルモニーレーレ (和声学)》

プロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番は初めて聴くもので、ヤンセンのヴァイオリンがラトル指揮ベルリンフィルをバックに情熱的に演奏されます。

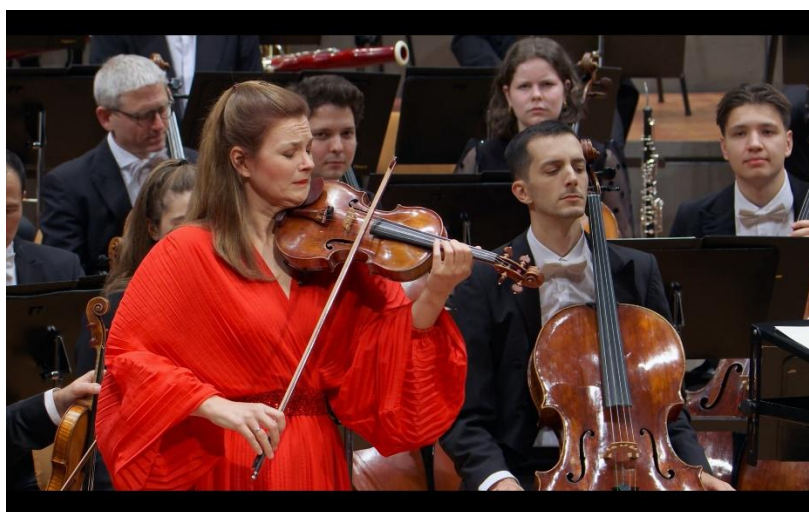
第1楽章は霊妙な響きに始まり、躍動感と静逸さが交互に進行し、第2楽章は軽快に、第3楽章は霊妙な響きに戻り、全般的に瞑想的で不思議な抒情性の表情を見せています。ヤンセンのヴァイオリンはこのような表情の変化を捉えています。

アンコール曲はバッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ 1 番からアダージョでしみじみと聴かせます。

グレインジャーの《リンカンシャーの花束》は、低弦と打楽器が加わった管楽アンサンブルで木管と金管との華やかな演奏です。

アダムズの《ハルモニーレーレ（和声学）》は現代音楽のようで、打楽器、金管、ピアノが強烈な色彩感を描きます。

LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、ヤンセンのヴァイオリンの艶っぽい演奏と現代音楽の強烈な迫力が描かれました。





以上